



こおりまち

議会だより

VOL.

137夏号

令和6年
7月17日発行



議会ホームページへ



議会だよりへ

主な内容

6月定例会 ②

議員10名による一般質問 ⑧

議会報告・意見交換会 ⑳

献上桃の郷 桑折町 ホームページアドレス <https://www.town.koori.fukushima.jp>

楽しく元気に！
半田山 山開き

6月定例会

会期：6月12日(水)～18日(火)(7日間)

提出議案16件
審議採決

条例改正3件、規約変更1件、補正予算2件、契約締結1件、
報告3件、同意1件、請願2件、陳情3件

条例改正

◆議案第24号
税条例の一部を改正する

内容
令和6年度の税制改正に伴い「地方税法の一部を改正する法律」外が4月1日以降にそれぞれ施行されることから、桑折町税条例の関連条項について所要の改正。

◆議案第25号

東日本大震災による被災者に対する町民税、固定資産税及び国民健康保険税の減税に関する条例の一部改正

内容
東日本大震災による被災者に対する国の財政支援措置が令和7年3月31日まで延長されることに伴う所要の改正。(該当者4名)

◆議案第26号
国民健康保険条例の一部改正

内容
前年の所得に係る地方税に規定する総所得金額が確定したことに伴う令和6年度の国民健康保険税の按分率の改定および政令の一部改正に伴う賦課限度額の所要の改正。
令和6年度は、国保財政が厳しい中ではあるが、急激な物価上昇、実質マインナス賃金に対し、国の施策として減税や低所得世帯に対し給付金が支給されていることを考慮し、均等割額、平等割額については最低限の引き上げに留め、(100円→200円)所得割の賦課割合は据え置くこととした。

討論はP67へ

規約変更

◆議案第27号
福島県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約

内容
健康保険証を廃止しマイナンバーカードに移行する法律の施行に伴い、後期高齢者医療広域連合規約の変更について県知事の許可を受けるため、構成市町村議会の議決を得なければならぬ。被保険者証及び資格証明書」を「資格確認書等に改める。

財産の取得

◆議案第28号

学校給食センター調理設備

1 買入物件及び数量

リースプロセッサ前工程機器 一式

2 契約の相手方

住所 福島県福島市郷野
目字宝来町17番地の3

氏名 株式会社

中西製作所

福島営業所

所長 赤津 克志

3 契約の方法

指名競争入札

4 買入金額

9,155,300円

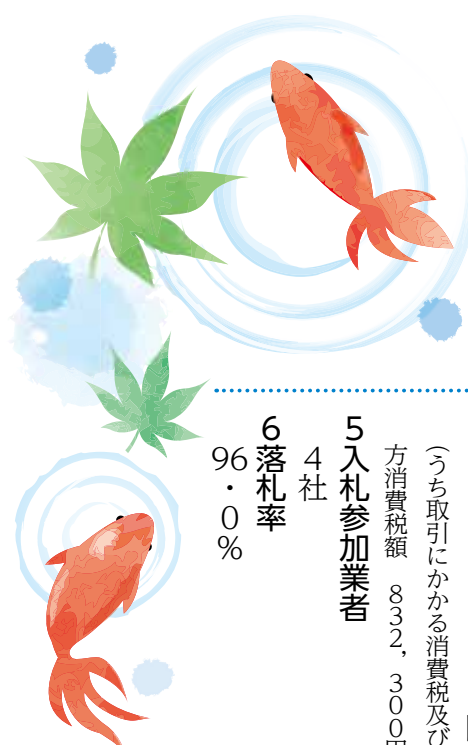
(うち取引にかかる消費税及び地方消費税額 832,300円)

5 入札参加業者

4社

6 落札率

96.0%



補正予算

◆議案第29号

一般会計(第1号)

既定の予算総額に歳入歳出それぞれ1億7,802万3千円を追加し、予算総額を65億742万3千円とするもの。

討論はP67へ

主な歳入

項目	補正額(千円)	摘要
地方創生臨時交付金	121,132	給付金・定額減税一体支援
公共施設維持管理基金繰入金	36,500	「睦合小学校屋上防水シート改修工事」へ充当
前年度繰越金	11,741	一般財源として充当

主な歳出

項目	補正額(千円)	摘要
住民税非課税世帯等への臨時特別給付事業(物価高騰支援)	20,971	物価高騰支援としてR6年度新たに住民税非課税・均等割のみ課税となった世帯に10万円給付
定額減税補足給付事業(調整給付)	97,716	定額減税しきれないと見込まれる所得水準の方へ調整給付
低所得者の子育て世帯への加算給付事業費	2,445	R6年度新たに住民税非課税・均等割のみ課税となった世帯で扶養する18歳以下の児童に5万円給付
小学校管理費	36,500	睦合小学校屋上防水シート改修工事

歳入(千円)	
国民健康保険税	△24,000
国庫支出金	3,141
県支出金	291
繰越金	28,897

(△は減)

歳出(千円)	
一般管理費	3,438
一般被保険者療養給付費	75
国民健康保険事業費納付金	△291
基金積立金	5,000
償還金	113

◆議案第30号
国民健康保険特別会計(事業勘定)(第1号)
既定の歳入歳出予算総額にそれぞれ833万5千円を追加し、予算総額を12億9,998万4千円とするもの。



町が出資している法人の経営状況報告

一般財団法人桑折町振興公社

【事業の概要】

目的 地域づくり、地場産業の振興に関する調査研究並びに開発を推進し、桑折町の振興発展に寄与する。

【重点事業】

☆視点Ⅰ 6次化商品の認知向上による地域振興への寄与拡大

☆視点Ⅱ 農業振興活動拠点施設の効果的な運営管理の実現

☆視点Ⅲ 地域農業の振興・発展の実現

これらの視点を進化（深化）させ、桑折ならではの地域活性化の推進に向け各種事業の効果的な実施を図った。

【主な事業】

●6次化産品開発事業

〃献上桃の郷〃桑折町の地域ブランドの強化及び公社経営基盤の強化に向けて販路開拓・拡大の取り組み

を積極的に展開した。また、至福の桃シリーズ第4弾となる「至福の桃キャンディー」を4月から販売開始した。

・仙台圏・首都圏等における販路開拓・拡大
・町内、町外物販イベント等への参加
・オンラインショップの強化
・「至福のグミ」商標使用料契約締結

●農業振興活動拠点施設管理運営事業

「レガールこおり」の管理運営については、施設コンセプトである機能・役割・交流拠点として〃集う〃学ぶ（体験・発見）〃の具現化を目指し、マルシェやピザづくり体験等を実施した。
・伊達崎マルシェの開催…4月から10月までに8回開催した
・交流会等の開催…伊達崎

小学校5年生と共同で「ハートレイクパフエ」を開発販売した。またピザづくり体験は16回の開催で205名の参加があった。

令和5年度「ピザスタ」売上・利用状況

(令和5年4月～令和6年3月)

項目	令和5年度	前年度	比較増減	対前年比
来店者	12,406人	11,798人	608人	105.2%
飲食売上	29,546,232円	37,224,611円	△7,678,379円	79.4%
材料費	8,383,484円 28.37%	12,088,420円 32.47%	△3,704,936円 △4.10%	69.4% 87.4%
人件費	11,660,628円 39.46%	11,528,855円 30.97%	131,773円 8.49%	101.1% 127.4%
ピザづくり体験	16回 205人	8回 91人	8回 114人	200.0% 225.3%

土地開発公社桑折事務所

令和5年度は、公共用地等の取得事業や処分事業等は実施していない。なお、平成19年度において、工業団地売却により損失が生じたが、町からの補償により借入金返済を実施している。

損益計算書

(単位：円)

項目	令和5年度	令和4年度
1 事業収益		
公有地取得事業収入	0	0
2 事業原価		
公有地取得事業原価	0	0
事業総利益	0	0
3 販売費及び一般管理費	17,312	8,132
事業損失		
4 事業外収益		
受け取り利息	92	112
5 事業外費用		
支払い利息	0	0
経常損失	17,220	8,020
6 特別損失		
その他特別損失	21,327	0
当期純損失	38,547	8,020
当期損失	38,547	8,020



桑折町固定資産評価員の選任住所
氏名 桑折町大字松原菅野泰央

同意



請願・陳情 審査結果



意見書へ

	請願者	審査委員会	審査結果
① 国に対し「学校給食費無償化を実施することを求める意見書」提出についての請願	伊達市霊山町掛田字下屋敷64 新日本婦人の会 伊達支部 支部長 大橋イツ子	総務文教 常任委員会	不採択 委員 会 採 択 報 告 否 決 に よ る
② 県に対し「学校給食費無償化を実施することを求める意見書」提出についての請願	伊達市霊山町掛田字下屋敷64 新日本婦人の会 伊達支部 支部長 大橋イツ子	総務文教 常任委員会	不採択 委員 会 採 択 報 告 否 決 に よ る

	陳情者	審査委員会	審査結果
◆ 年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情書	福岡県行橋市上稗田1097-1 小坪慎也	総務文教 常任委員会	不採択
◆ 地方財政の充実・強化に関する意見書提出の陳情について	伊達市保原町舟橋180番地 日本労働組合総連合会 福島県連合会 伊達地区連合会 議長 高橋誠一	総務文教 常任委員会	採択 (意見書提出)
◆ 「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める陳情書	福島市上浜町10-38 福島県教職員組合 中央執行委員長 瀬戸禎子	総務文教 常任委員会	採択 (意見書提出)

令和5年度 桑折町一般会計繰越明許費繰越計算書 (令和6年5月31日現在)

款	項	事業名	金額	翌年度繰越	一般財源	完成予定日
02 総務費	03 戸籍住民基本台帳	戸籍システム氏名の読み仮名法制化対応業務	8,690,000円	8,690,000円	0円	令和7年3月31日
03 民生費	01 社会福祉費	住民税均等割のみ課税世帯への臨時特別給付事業(物価高騰支援)	33,134,000円	18,284,000円	0円	令和6年10月31日
	02 児童福祉費	子育て応援商品券給付事業	16,667,000円	5,267,000円	0円	令和6年5月24日
		低所得者の子育て世帯への加算給付事業	6,272,000円	2,914,000円	0円	令和6年10月31日
04 衛生費	01 保健衛生費	第3期桑折町子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査業務	3,025,000円	3,025,000円	3,025,000円	令和6年5月31日
06 商工費	01 商工費	こおりプレミアム商品券(第5弾)発行事業	18,350,000円	18,350,000円	0円	令和6年11月30日
07 土木費	04 都市計画費	桑折町都市計画マスタープラン改定業務	7,081,000円	7,081,000円	7,081,000円	令和6年9月30日
		伊達桑折IC周辺道路(町道101号線)測量設計業務	43,670,000円	43,670,000円	43,670,000円	令和6年12月27日



討 論 一 覧 表

賛 成		議案・請願	反 対	
本条例改正は、将来に向け健全かつ持続可能な国民健康保険制度を目指したものである。福島県は令和11年度を目標に制度の統一を進めている。桑折町民が不公平の犠牲になることのないように、厳しくも心ある交渉を期待するものだ。最後に本改正に尽力した担当課に敬意を表して賛成討論とする。	岡本 貴士 議員	条例改正 議案第26号	齋藤 松夫 議員	物価高騰が住民生活を圧迫している。この影響を強く受けているのが低所得層である。そうしたなか、今回の国保税増税は均等割・平等割り世帯を対象としており賛成できない。 加えていえば、日本共産党はこどもにかかる均等割負担をなくすことを強く要求している。この立場からしても賛成することはあり得ず反対である。
現在の物価高騰が続く中で300円とは言え値上げは厳しい。しかし、国民健康保険加入者の減少や一人当たりの医療費が増加傾向にある事を考えれば、この制度を維持していくためには若干の値上げもやむを得ないのではないか。また、財源を前年度の剰余金を投入する等々、最低限の引き上げに留める配慮がされた事から賛成する。	川名 静子 議員			
この度の補正の主なものに、国の地方創生臨時交付金として、物価高騰対応等の住民税非課税世帯へ臨時給付事業や定額減税補足給付事業等が計上されている。さらには、睦合小学校屋上防水シート改修工事は、子供たちの安全で快適な環境を確保するため、いずれも早々に対応すべき内容と捉え賛成する。	川名 静子 議員	補正予算 議案第29号	岡本 貴士 議員	本補正予算には、小中学校のあり方を調査するためのアンケート実施予算(350万円)がある。このアンケートの対象者は15歳以上の町民1000名であり、学校に通う小中学生は含まれていない。学生の意見を聞かずに学校のあり方を検討できるものか疑問を持つ。町は小中学生の意見も同時に調査すべきである。
DX推進の為、システム導入の予算が組み込まれている。スピード感をもって、なおかつ正確な業務執行を期待して賛成する。	羽根田ひとみ 議員			
賛成する理由は、反対する理由が特に見当たらないからである。種徳美術館解体後の観光交流センター建設を中心とする都市再生整備計画の縮小方針が、提案理由の説明で述べられたことは評価できるものである。こうした点も考慮し本案に対し賛成の態度をとるものである。	齋藤 松夫 議員	議案第30号 補正第3案	齋藤 松夫 議員	国保税条例一部改正案反対討論と同様の理由にて反対の態度をとる。
国保税の一部改正と同じ討論内容である。また、先に可決された後期高齢医療広域連合規約改正の「資格認定書」の予算も含まれている事から賛成する。	川名 静子 議員			
全国で学校給食無償化が大きな流れだ。福島県では35市町村が無償化、一部補助が19市町村に及び一部補助を加えれば95%を超える自治体が学校給食費の保護者負担軽減を行っている。学校納付金で大きな割合を占める給食費の軽減を求める保護者の要求が極めて切実なものである事を反映している。よってこの意見書の採択に賛成する。	川村 滋道 議員	国による給食無償 請願1	佐藤 武朗 議員	本町はいち早く学校給食費無償化に取り組んでいる。請願があったから意見書を提出することは如何なものか、本来は自らが意見書を提出するのであれば理解できるが、請願によって提出することには理解できず提出には反対する。
審査経過を述べ賛成討論を行う。採決は3対2で採択すべきとの結果であったが、意見書案の検討では、「桑折町の実情にあった意見書を」という意見も出て案文修正が行われた。私の主観的感想であるが、このような経過は事実上の全会一致の採択であるかのような印象を抱くにいった。本請願に十分な道理があることがここに示されている。よって本請願採択に賛成である。	齋藤 松夫 議員		川名 静子 議員	委員会で不採択の態度から委員長報告に反対する。学校給食費無償化は物価高騰、社会情勢から無償化されていく事も時代の流れかと思う。無償化は各自治体の考えで実施していいはずだ。今の物価高騰は自治体にも負担増となっていく。無償化だけでなくその財源も併せて求めるべきだ。私は基本的に一部なりとも受益者負担と考える。
国で学校給食費無償化が大きな流れになっています。福島県においても35市町村が無償化、一部補助が19市町村に及び、値上げ分のみ補助などを加えれば95%を超える自治体何らかの形で学校給食費の保護者負担軽減の措置をとっています。この動きは、教育費の保護者負担軽減、とりわけ学校納付金のなかで大きな割合を占める給食費の軽減を求める保護者の要求がきわめて切実なものであることを反映していると考えられます。	川村 滋道 議員	県による給食無償 請願2	佐藤 武朗 議員	国に対し「学校給食費無償化を実施することを求める意見書」提出についてと同様の理由にて意見書提出には反対する。
次の理由で採択すべきとの委員長報告に賛成だ。岸田総理は少子高齢化対策に異次元の対策を表明した。市町村が先行し次いで県にも決断を促す。これが国による無償化実現の近道だ。そのためにも本請願を採択し、県宛て意見書を提出すべきだ。よって本請願は採択すべきである。	齋藤 松夫 議員		川名 静子 議員	請願第1号と同じ理由から反対する。

一目でわかる 審 議 結 果



会議結果表へ

○一般質問

	川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	斉藤 謙	半澤 高	川名静子	原 賢志
一般質問者	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	—

○賛否の分かれた議案

議案名	川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	斉藤 謙	半澤 高	川名静子	議長	可否
議案第26号 桑折町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
議案第29号 令和6年度桑折町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	—	可決
議案第30号 令和6年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 □：討論者

○全会一致で可決の議案

議案名	討論者	議案名	討論者
議案第24号 桑折町税条例の一部を改正する条例		報告第3号 町が出資金を出資している法人の経営状況等を説明する資料の提出について	
議案第25号 東日本大震災による被災者に対する町民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例		同意第3号 桑折町固定資産評価員の選任について	
議案第27号 福島県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約について		発委第3号 地方財政の充実・強化に関する意見書(案)	
議案第28号 財産の取得について		発委第4号 「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書(案)	
報告第1号 令和5年度桑折町繰越明許費繰越計算書について		桑折町議会議員の派遣について	
報告第2号 町が出資金を出資している法人の経営状況等を説明する資料の提出について		閉会中の所管及び所掌事務調査の申し出について	

※報告は採決なし



さいとう けん 齊藤 謙 議員

質問 身の丈に合った財政運営を

答弁 入りを量りて出ずるを為す

問 經常収支比率が類似団体と比較して、高いのは何故か。

答 町長 中期財政計画に基づき、最小の経費で最大の効果を上げる。

問 実質収支比率においても、類似団体である鏡石町と比較して当町は11・5%鏡石町4・0%と高くなっている。財政運営が厳しくなると高くなる傾向が伺われる。

身の丈として、標準財政規模額であるが、一般歳入財源額で計上されている範囲で予算を組むことは可能と思われる。また、数値目標を明確にした取組が必要と思われる。

以上ことから、町民が理解しやすいように予算書に加え事業別予算書作成すべきでないか。

答 町長 これからも健全財政を堅持していく。なお事務事業毎に詳細な内容を「主要事業説明書」に記載し、作成・配布している。



予算が厳しいとは、どういうことか

質問

地域経済分析(リーサス)

答弁

町民への見える化実現で理解促進

問 9つのマップのうち観光マップに当町分が載っていないのは何故か。グラフ等で明確に説明責任を果たすべき。各種事業の見える化を果たす必要がある。

答 町長 半田山自然公園・うぶかの郷について、計上されているが、今後、費用対効果の面からも町民へ周知させていく。

これも質問

問 勤労統計調査の活用を

答 景気動向の観点から活用していく

問 議会への情報提供を

答 前向きに協力していく考えである

町民の思いや願いを届ける

65分

6月定例会は全議員11名中10名が登壇

※青字は、質問の概要を掲載しています。

登壇議員	質問事項
齊藤 謙	① 財政運営に関して 2 勤労統計調査に関して ③ 地域経済分析(リーサス)に関して 4 当町に関わる各種事業の説明会の開催に関して
半澤 高	① 町役場内のハラスメント対策について 2 障害者差別解消法(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)による「合理的配慮」について ③ エリザベスタウン市との姉妹都市提携(交流)について 4 熱中症対策について
鈴木 隆志	1 カスタマーハラスメント対策について ② 桑折町第5次障がい者計画について、 ③ 消防団運営について 4 町文書管理規定について
佐藤 武朗	① 伊達桑折インターチェンジ周辺開発の進捗状況について ② 福島蚕糸跡地複合施設の一部開業したことによる今後の展開について 3 技能職種の後継者問題と将来の「町民を守る」行政執行の影響について
石幡 政子	① 福島蚕糸跡地利活用計画における地域振興について ② 心と体の健康づくりの推進について 3 全ての子供達が誰一人取り残されることのない教育環境について
半沢 正保	① 「めざす15歳の姿」をふまえた児童生徒の英語教育の現状と課題及びその解決策について 2 わずか6年後、各小学校の小規模化が顕著になっていく。今後の対応策について ③ 「安全・安心」して暮らせるための有害鳥獣対策の取組について
川名 静子	1 老朽化が進む公共施設のあり方と総合管理計画の現状と課題に関して ② 歴史的風致維持向上計画の終了期間まで1年、本町への効果をどう評価するか ③ 高齢者福祉計画第9期の基本理念を確実に推進するために 4 「認定こども園」の開園までのタイムスケジュールに関して
羽根田 ひとみ	① ごみ回収方法の改善について ② 飼い主のいないペットの去勢手術に助成金を 3 梁川新道の道路改修について 4 浄化槽の管理費に助成金を
川村 滋道	① 地域おこし協力隊の関連で伺う ② 本町の消防水利に関し、防火水槽と消火栓、学校プールについて伺う 3 蚕糸跡地利活用事業に関して 4 東電の損害賠償請求関連状況に関して
齋藤 松夫	① 蚕糸跡地利活用事業に係る事務執行が「瑕疵のない事務」であったとするこれまでの町長答弁について 2 同事業において町と事業者間で締結した基本協定で謳う「本事業」の解釈について 3 瑕疵ある事務の連続執行の根源について 4 人口減少時代下の民営認定こども園の事業運営について ⑤ 民営認定こども園の園名について

一般質問とは、議会で議員が行政(町長や役場など)に対して、町民の関心事や問題点について質問し、その答えを求める制度です。これにより、行政の運営状況を確認し、政策の改善や問題の解決を図ることを目的としています。

一般質問という名の政策提案



鈴木 隆志 議員

質問 消防団員確保に向けての対策は

答弁 定員確保に向け募集告知に努める

問 消防団員定員 390人に対し、現在、団員320人となっている団員確保に向けての対応は。

答 町長 消防団員確保に努めているものの、定員に至っていないことから、地域防災力の更なる強化に向け、住民自治協議会等の協力を仰ぎながら団員確保に努めていく。

問 消防団員OBを対象にした機能別消防団の活用は。

答 町長 災害現場において不足する消防力を



いつでも出動できるよう整備している

問 普通免許改正により、車両総重量3・5トン以上の消防車両、また、オートマチック限定により消防車両が運転できない団員がいた場合の対応は。

答 町長 各部において、支障なく運用されているが、今後において対策協議していく。

質問 町第5次障がい者計画策定は

答弁 アンケート調査結果を踏まえ実施

これも質問

問 町役場職員に対するカスハラ対策は

答 不当要求行為対応マニュアルに基づき対応

問 情報不存在決定通知に対し公文書管理の徹底を

答 桑折町文書管理規程に基づき対応

問 アンケート調査の回収率が前回調査より減少しているが対応は。

答 町長 前回より18ポイント減少し、各年代を通して減少していることから、原因究明し、今後の対応に活かしていく。

問 障がいサービスの情報が十分伝わっていないとの回答が半数以上あるが対応は。

答 町長 アンケート調査を踏まえ、情報を分かりやすく伝える工夫や、誰もが簡単に情報アクセスできる仕組みを追求していく。

問 障がいについて、様々のことが相談できる窓口の設置、サービスの利用の手續きの簡素化と窓口対応の改善の要望が上位となっているが対応は。

答 町長 アンケート調査を踏まえ、職員研修等を通じての、更なる接遇向上、及びICT機器の有効活用による手續き事務の簡素化等に努めていく。



半澤 高 議員

質問 エリザベスタウン市との今後の交流は

答弁 アプローチは続けていきたい



訪問を記念しての植樹も行われた
(1995年ふれあい公園)

問 これまでの経緯によれば、エリザベスタウン市との交流事業は終了した事業と捉えてよいのか。

答 町長 一言でいえば、終わりにしたというところである。

問 総合計画の見直しにおいて、当交流事業についてどうするのか。

答 町長 総合計画の中には多文化交流としては、終わりにしたというところである。

問 先人が築き上げた交流事業であり、我々が続けていくべきではないか。何かあれば復活させたいという考えはあるのか伺う。

答 町長 コロナ禍や地元企業の協力が得られなくなったなど諸要因の中で現状にあり、それを踏まえた上での考えではあるが、この機会にアプローチしその反応をもとに考えていきたい。

質問 ハラスメント対策研修は

答弁 「公務員倫理研修」に合わせて実施

これも質問

問 障がい者の方への合理的配慮の提供は

答 それぞれの立場に寄り添い対応している

問 小中学校での熱中症対策は

答 熱中症危険度、体調等把握により適宜対応

問 窓口対応の職員に対するカスターハラスメント対策は。

答 町長 マニュアルに基づき「不当要求、暴力行為等には絶対対応しない」ことを基本姿勢に、チームプレイで対応することとしている。

問 ハラスメントの捉え方等が変化している昨今において職員対象の講習会の開催は随時実施しているのか。

答 町長 先月「公務員倫理研修」に合わせて実施した。



石幡 政子 議員

質問 福島蚕糸跡地利活用計画の地域貢献は

答弁 株式会社いちいとは防災協定等締結した

問 人口の変化がもたらす商店街への波及効果についてどのように分析しているか。

答 町長

利用者の多くは近隣市町村、仙台圏、関東圏からと新たな人流の増加により、

令和6年3月にスーパーいちいとグランピング施設がオープンし、形が見えてきたところだが、オープンから現在までの経過をふまえ、福島蚕糸跡地利活用計画が桑折町の地域振興に貢献していると考え、次の3点について伺う。

問

人口の変化がもたらす商店街への波及効果についてどのように分析しているか。

答 町長

利用者の多くは近隣市町村、仙台圏、関東圏からと新たな人流の増加により、



夏休みの学習スペースとしても期待

既存の店舗の客数増や商業施設内において町内産品販売による売り上げ増に寄与している。

問 株式会社いちいが桑折町と連携して地域振興に供与できる可能性は。

答 町長

「地域見守り協力に関する協定」「災害時物資等の供給協力に関する協定」の締結と今後はふるさと納税企画や地元商店会とのコラボによる地域活性化など、本町のポテンシャルを更に高める可能性がある。

これも質問

問

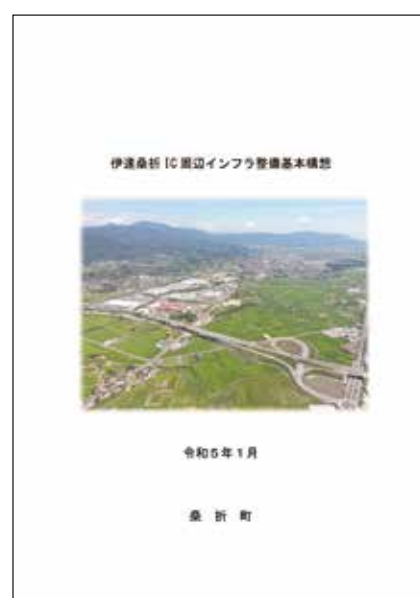
不登校児童の学力維持の支援は本人・家庭と相談しながら計画的・継続的な支援をしている



佐藤 武朗 議員

質問 民間業者が進めている開発の状況は

答弁 当初計画に遅れが生じている



将来に繋げるインフラ整備を

問 事業の進捗状況と今後のスケジュールは。

答 町長

民間事業者において進出企業並びにデベロッパーの選定に時間を要しており当初計画に遅れが生じている。町としても、本事業に対して大きく期待を寄せており、一日も早い事業着手に向け連携強化を図る。

問

成否は今後に大きな影響を及ぼす、課題と町としての支援は。

答 町長

今年度、国道4号交差点部の用地買収、7年度拡幅区間の用地買収、8年度工事着手に向けた準備。

問 瀬戸場線のスケジュールは。

答 町長

資材等の高騰、労務単価の上昇等による工事費用の増加。支援は、町道改良、団地内の道路及び水道整備に対する支援、他市町同様、進出企業に対し税制上の優遇措置。

質問 オープンから現在までの評価は

答弁 交流人口の増加に寄与している

問 長期間、未利用地になっていった福島蚕糸跡地の利活用については、多くの町民が期待しており、ようやく複合施設の商業施設、アウトドア施設がオープン。町長としてオープンから現在までの評価と今後の周辺エリアの活性化は。

答 町長

事業者からの報告で商業施設は他店と比べ40代以下の若年層の利用が多く近隣市町や他県からの来客も多い状況。また、アウトドア施設は町内企業による数百人規模のバーベキュー利用や、近隣市町はもとより仙台圏、関東圏から利用者がある。新たな名所として注目を浴び交流人口の増加に寄与していると認識。今後は、認定こども園開園により町民の更なる利便性と賑わい創出はもとより、子育てしやすい町として定住人口の増加に繋げる。

これも質問

問

町としての公共施設等の維持管理体制は専門職員の人材の育成と確保に全力で当たる



かわ な しず こ
川名 静子 議員

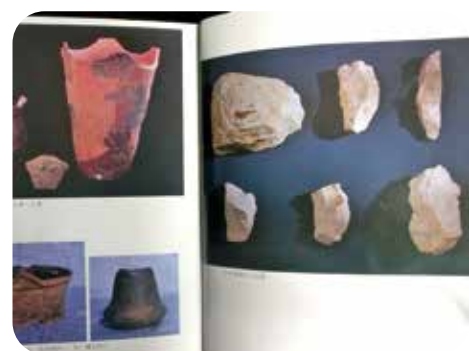
質問 次期計画で遺跡にスポットを当てては

答弁 計画の更新は考えていない

問 平成28年に認定された歴史的風致維持向上計画の終了まで1年となる。数ある文化財の中で、期間の大半を西山城にスポットを当てたことで、多くの町民も学ぶ機会が増えた事と思う。事業の効果と今後について伺う。

答 町民の計画に対する認知度は高まったと評価するか。

教育長 着実な事業の推進から気運の醸成、認識の向上が図られた。



桑折から始まる福島県
平林遺跡から出土された石器
(桑折町史より)

問 歴史的風致への維持向上は図られたか。

答 一定の成果をあげたことから初期の目的は達成された。

問 福島県は桑折から始まると言われる旧石器時代の遺跡もある。次の計画を更新しこの遺跡群にスポットを当ててはどうか。町民の興味・関心に何を提供するかも行政の役割りではないか。

答 教育長 目的を達成したことから更新は考えていない。

これも 質問

問 人口減少社会での公共施設のあり方と計画は

答 施設の更新・統廃合・長寿命化等を実施する

問 こども園へは在勤者のお子さんも入園可能か

答 体制に余裕があれば受け入れ可能とする



はん ざわ り まさ やす
半沢 正保 議員

質問 幼児・児童・生徒の英語教育の充実を

答弁 めざす15歳の姿・英語力向上に取り組む



運動会 元気いっぱい入場行進 半田醸芳小

問 本町の文科省「英語教育実施状況調査結果(中学3年生、英検3級レベル以上、全国50%、県36%)をどのように評価しているか。

答 教育長 県レベルとほぼ同等であり、豊かな言語活動を通して英語が身につく授業展開に早急に取り組んでいく。可能な限り授業を参観し、継続的に授業改善のポイントについて指導助言していく。

問 幼保・小・中連携による英語教育強化により、15歳であれば誰もが日常英会話できる町となりその教育を求め人々が集まり、町活性化が図れるのではないかと伺う。

答 教育長 幼保・小・中連携は「15歳のめざす姿」に向けて非常に重要であると認識しており、英語教育も観点の一つとして掲げていることから、今後ともさらに充実するよう努めていく。

質問 安全安心して暮らせるための有害鳥獣対策を

答弁 迅速に有害鳥獣対策の新規事業を推進

問 熊・イノシシ等の出没状況及び被害状況について伺う。

答 町長 有害鳥獣については、有害鳥獣対策実施隊やサルパトロール隊員からの報告、地域住民からの情報などにより出没状況を把握している。今年に入り、熊は目撃が3件、捕獲が1頭、イノシシについては掘り起こしなどの被害が2件寄せられている。

問 有害鳥獣対策新規事業として、侵入防止柵の増設などに900万円、資材補助事業(電気柵180万円、鳥類対策20万円)が計上された。進捗状況を伺う。

答 町長 現在、町内会長に各地区の実態をまとめるために、情報を収集している段階である。

問 熊・イノシシの出没情報は、安全安心して暮らせるよう防災無線を利用し、最新情報を伝達できないかを伺う。

答 町長 緊急性を考え、今後利用を検討していく。

これも 質問

問 急増する複式学級に手厚い支援を

答 教育環境の整備充実に努めていく

質問 高齢者の願いが叶う福祉計画が

答弁 在宅介護を重点的に考えた

問 推進協議会での意見は。

答 教育長 建造物単体に限らず、町づくりや景観の観点から維持向上を図る、古い歴史資料のデジタル化事業提案等を頂いている。

問 願いは在宅介護だが希望が叶わぬのはなぜか。

答 町長 介護者の確保が困難なケースが多い。訪問や通所サービス、短期入所などの

問 レスパイトケアの利用状況について。

答 町長 介護者の負担軽減を目的にし多くの方が利用している。

問 レスパイトケアとは、在宅で介護をする家族が休息をとれるよう、一時的にケアを代理する家族支援。

※レスパイトケアとは、在宅で介護をする家族が休息をとれるよう、一時的にケアを代理する家族支援。



かわむら しげみち
川村 滋道 議員

質問 町の消防水利の基準は

答弁 概ね規定を満たしている

問 今年本町で3件の火事が発生。消火活動の時、防火水槽の一部で藻が多くて使用できなかったと聞く。定期的な点検は欠かせない。消防団員のなり手不足も伺う。地域の防火水槽や消火栓の点検や掃除に地域の方々に呼びかけ手伝ってもらう事も必要ではないか。



24時間町民の為にスタンバイしている消防車と救急車

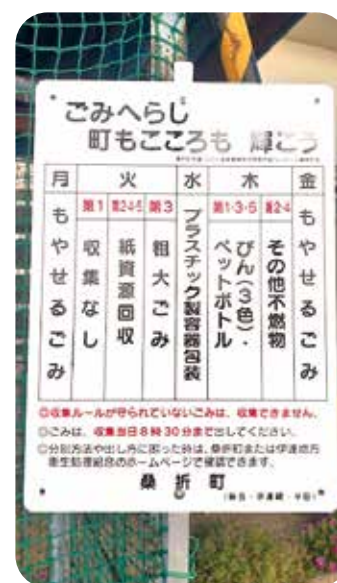
答 町長 議員お礼のとおり自らの地域の消防水利に理解を示して頂くために清掃や点検に地域の方々に参加いただく事は有意義な事だ。今後関係部局と検討しながら町としても呼びかけていきたい。消防団員のなり手不足には伊達崎にならない辞める時に必ず補充者を見つけていることを参考にしたい。



はねだ
羽根田 ひとみ 議員

質問 ゴミ回収トラブルの改善を

答弁 分かりやすい周知をしていく



ごみへらし町もここも輝こう

問 「桑折町廃棄物減量等推進協議会」は、どのようなメンバーでどのような話し合いがされたのか。

答 町長 町内会、農業、商工会、ごみ減量化に取り組んでいる団体の代表、収集委託業者、伊達地方衛生処理組合職員など15名。ごみステーションの管理とごみ出しマナーの向上について意見をもらった。

問 ペットボトル回収にポイントが付く。福島県環境アプリポイントでお米や宿泊券が当たるなどがある。楽しみながらできる工夫と宣伝をしてほしい。

答 町長 町民のみなさんが活用できるように周知宣伝する。

問 ゴミ回収方法が変わったことでトラブルはないか。

答 町長 変更初日において、誤排出が数力所あったものの、現在では指定どおり排出がなされている。

問 現場ではまだ回収されないものがある。回収されない理由の分かりやすい周知が必要ではないか。

答 町長 現場を調査し、分かりやすく周知する。

質問 地域おこし協力隊の住居と安全は

答弁 住居確保は無いが保険加入対応

問 七ヶ宿町では地域おこし協力隊を会社組織で受入れており、住居も確保されているので万が一の事故の際も労災対応で治療も無料となる。このような「移住定住事業」で毎年30人以上の「ターン・Uターン」の移住者が定住。現在人口の1割以上の移住者が転入している。本町でも入隊する方の住居の確保はあるのか。又ケガの際の対応はどうか。

答 町長 当町での事前の住居の確保はないが、相談には応じている。又事故の際の対応としては事故対応の保険に加入してもらっているのので、保障については対応可能である。

質問 ペットの去勢手術に助成金を

答弁 調査研究してみたい

問 福島県は犬猫殺処分数が日本一多い。動物の命を大切にするため、また地域の良好な生活環境を守るために、飼い主のいないペットの去勢手術に助成制度を設けてはどうか。

答 町長 また、福島市や伊達市ではすでに、めす1匹8000円、おす1匹4000円までを2名以上の登録された団体に對して助成をしている。桑折町でも検討してはどうか。

答 町長 まずは飼い主が責任をもってペットを飼うことが大事だ。

問 伊達市では飼い方のマナーを周知するチラシなどを作成している。

答 町長 生活衛生の維持や動物愛護の観点から調査研究してみたい。

これも質問

問 ありえない情報公開請求の書類不存在的

答 適正な事務執行を行っている

問 東電の損害賠償の請求状況は

答 町民の9割以上の方が請求済

これも質問

問 梁川新道の道路改修計画と方法は

答 改修方法の検討を行っている

問 浄化槽の管理費に助成金を

答 設置の助成はしているが管理費はしていない

総務文教常任委員会

委員長 斉藤 謙

当委員会は、①「認定こども園」の進捗状況②少子化時代の学校教育のあり方③その他の3項目を調査事件として、調査研究している。

②に関しては、町教委が5月24日に開催した「第1回小・中学校のあり方検討委員会」で話された内容(現状報告及び今後の進め方等)について、教育文化課長から説明を受けた。



広報広聴常任委員会

委員長 半沢 正保

5月9日(木) 19:00よりイコーゼにおいて第1回議会モニター会議を開催しました。議長より委嘱状が10名の議会モニターに手渡され、委員長より年間予定と活動について説明がなされました。最終ページにモニターの皆様の紹介がありますので御覧ください。

5月19日(日) 1部13:30 2部16:00よりイコーゼ!において第1回議会報告・意見交換会を開催しました。各議員より政務活動について報告があり、続いて積極的な意見が数多く述べられ充実した町のあるべき姿が話し合われました。詳細につきましては、20・21頁をご覧ください。

令和6年度「議会だより」は、印刷業者が入札により変更となったことを契機に、落札額でカラー印刷でも対応できるということで、一段と見やすくなっております。毎号議会モニターにアンケートを実施し改善に努めています。皆さまからのご意見・ご感想をお願いいたします。



産業厚生常任委員会

委員長 佐藤 武朗

本委員会は「商業分野における地域おこし協力隊制度の利活用」について令和6年3月の定例会で閉会中の調査事件にあげた。調査理由として総務省が行う協力隊制度の目的は、人口減少や高齢化の進行する地域において、地域外の人材を積極的に誘致し定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を図っていくことである。本町はシティプロモーションや農業分野に協力隊制度を利用して高い評価を受けている。他自治体でもあらゆる分野で活用されている。

そこで、本委員会は、本町における協力隊制度の活用状況、空き家・空き店舗の状況、および事業者の入手・後継者の状況を調査する。その後、商業分野の視点から協力隊制度の利活用について調査・研究を行う事としている。まずは、産業振興課より現状の取り組みと今後の商業分野での考えについて説明を受けた。



議会運営委員会

委員長 半沢 高

当委員会の閉会中の所掌事務調査は、①「議会基本条例第20条に基づく検証」および②「一般質問のあり方について」に関して継続して進めてきた。

①「議会基本条例検証第20条に基づく検証」については、『正副議長の選挙について』『政務活動費について』『災害時の対応について』の3点を条項として追加するかどうか、また追加した場合の条項について委員長(案)をもとに現在協議を重ねている。

②「一般質問のあり方」については、今までの一般質問の総括等をもとにインターネットで視聴している方がわかりやすい一般質問のあり方について調査してきたが、今後先進議会の視察研修を実施しさらに調査を進めていきたい。



質問 これでも瑕疵なき事務というのか

答弁 規定に反するとは考えていない

さいとう まつお 齋藤 松夫 議員



問

三議員による情報開示請求の結果、「蚕糸跡地プロポーザル公募実施要領」で定める基本計画書や、協議経過に関する記録は存在であった。これは地方自治法138条2の2や町文書管理規程に反する事務執行だ。このような法令無視の事務執行も「瑕疵のない事務」というのか。同実施要領に反し、協議・調整を欠いた基本計画を持つて基本協定を締結したことも、誤りのない事務執行との見解が伺う。

答

町長

基本計画とした企画提案書は、必要とする内容が網羅されているので、これをもって基本計画としたものだ。その後の協議は頻繁、多岐にわたるものであるため、口頭により進めてきた。よっていずれも規定に反するものとは考えていない。

『福島蚕糸跡地』町有地利活用

公募型プロポーザル実施要領

プロポーザル公募実施要領15ページ抜粋

(2) 基本計画の決定
町と優先交渉権者は、当プロポーザルに基づく事業の実施に関する協議、調整を行い、核施設等の基本計画(建設計画、事業計画、経営計画、テナント誘致計画等)を決定するものとします。

令和3年3月

桑折町 まちづくり推進課

「協議・調整」を行うことが重要
～企画提案丸のみはいけません～

質問 園名のその後は・演説会場確認を

答弁 町意向を尊重・会場の確認はせぬ

問

認定こども園の園名を「醸芳」ではないものをとの町申し入れの結果はどうなったか伺う。また、同認定こども園理事長(福島市市会議員)は、先の衆院選挙の際、某候補の応援演説を行っている。注目すべきはその演壇正面に旧統一協会のロゴマークがあったことだ。旧統一

答

町長

協会の施設内で同会議員等を前にして行った演説であるとすれば、その意味するところは重大だ。演説した会場はどこか確認する必要があるのではないかと。町長「園名」については町の意向を尊重するものと伺っている。応援演説の会場確認はしない。

これも質問

問

基本協定書の「本事業」の意味不明でないか
「本事業」とは蚕糸跡地利活用事業のことだ
10年後、15年後の町内就学前人口の推計は10年後232人、15年後207人だ

問

事業者ありきの公募だったのではないかと
民間事業者の発想・専門性を活用する公募だ

問

基本協定書の「本事業」の意味不明でないか
「本事業」とは蚕糸跡地利活用事業のことだ



令和6年度 第1回桑折町議会報告・意見交換会



日時 令和6年5月19日(日)
● 1部13:30～ ● 2部16:00～

場所 イコーゼ！多目的スタジオ

参加者数・地区別一覧

	桑折	睦合	伊達崎	半田	計
1部	5	6	9	12	32
2部	5	1	2	4	12
計	10	7	11	16	44

ご出席いただきました皆様ありがとうございました

① 各議員による政務活動についての説明 (3分間、議席番号順発表)

川村 滋道 議員	性的マイノリティのパートナーシップ登録を導入するように要望。職員の雇用問題、改定予算への反対。
齋藤 松夫 議員	蚕糸跡地の計画事業への疑問、情報公開請求、文書管理の解明。
半沢 正保 議員	少子・高齢化への課題の報告。消滅可能性のある桑折町をどのような政策で解消。
羽根田ひとみ 議員	図書館にwi-fi要望。個人への町表彰。少年消防クラブ推進。三元車PR活動推進。ゴミ回収方法の追求。
石幡 政子 議員	健康増進。支援を必要としている子供たちの支援の推進。ゴミ減量化への取組。
岡本 貴士 議員	町長提案の予算審議。新しい政策が出たとき、他の自治体の取組や過去の事例の調査。
鈴木 隆志 議員	住民の声を町政に反映。通学路改善推進。衛生処理組合の協力金の有効活用。
佐藤 武朗 議員	インフラ整備の強化。次世代の人が安心して暮らせるよう建設業の担い手の確保・後継者問題の解決。
斉藤 謙 議員	財政運営を考察・検討。インフラ整備の点検強化。
半澤 高 議員	商店街のあり方。特に西町繁栄。議会運営委員長として、他市町村の良いところを参考に議会改革。
川名 静子 議員	女性議員として活動。定例会後に地区の皆さんに報告会開催。町民の声を反映させる活動。人口減少に対する政策に取り組む。
原 賢志 議員	議長会議出席、各地区の事業や会議へ出席し情報交換。各団体の課題について情報共有し、解決策を話し合い検討。



② 意見交換 (主に話題となった項目)

- **議員定数について**
 - ・少子高齢化社会に向けて、議員定数を削減の方向で検討することが重要と提案。
 - ・議員が多いと考える意見がある一方、意見のバランスを保つため現状が適切な意見。
- **予算審議について**
 - ・予算審議は全体を見通した上で行われ、一部の予算に反対することは他の予算に影響が及ぶ。
 - ・予算は未来に向けて不確実なものであり、執行部の意向を一定信じながら後押しすることが重要。
 - ・全体の予算審議を考えた際、一部分に振り回されるべきでないとの意見。
 - ・議会で決まった事項を再度議論することは議会の時間を浪費すると提言。
- **公民館の運営について**
 - ・公民館の運営については、シルバー人材センターが関与しており、その役割についての認識が必要。
 - ・半田地区自治協議会では計画的に運営に携わって行く予定。
- **地域活性化について**
 - ・地域に人を呼び込む重要性を強調。
 - ・地域の観光資源を活用し、訪れた人々にお金を使ってもらうことが地域活性化へつながらずと意見。
- **女性農業団体の活動について**
 - ・女性農業団体を立ち上げ、その活動としてメンバーと共に市場拡大していく意向。
- **地域の農業状況と新規就農者支援について**
 - ・新規就農者への平等な支援の推進。
 - ・新規就農者への支援策として、ふるさと納税の返礼品に新規就農者の作物を加える提案。
 - ・新規就農者の収入が少ない問題を改善するための対策を提案。
- **学習スペースの設置について**
 - ・学習スペースの設置の要望がある一方で、施設借用費が町負担は妥当かと意見。
 - ・民間の力を借りて、教育環境を充実することに賛成。
 - ・学習スペースの利用は非常に活発で、地域の教育に貢献。
- **移住者への応援について**
 - ・桑折町内に移住して頑張っている人々を応援。
- **ごみ焼却場の計画について**
 - ・現在、環境アセスメントを作成中、その後、設計と建設。
 - ・環境アセスメントは今年度中に終了予定。
- **後期高齢者の医療について**
 - ・人間ドックは限定的な枠があり、全員が受けられるわけではない。
 - ・全員が受けられるための予算確保を。
 - ・医療に関する特定サービスを全員が受けられるよう提案。
- **地域おこし協力隊の自立について**
 - ・地域おこし協力隊の自立を支援する政策を。
 - ・協力隊が自立できる環境を整えることが大切。
 - ・情報の共有により、畑など利用可能な資源を活用できるよう検討。
 - ・農業委員会の力を借りて情報共有を推進すべし。
- **子育て支援策について**
 - ・子育て支援策が充実している自治体が人口増を実現。
 - ・働きながら子育てするには、早朝、夜遅くまで子どもを預けることができる施設の設置を。
 - ・子育て支援法に基づき、5年ごとに子育て支援計画を作成し実行を。
 - ・子育て施設は保育園と幼稚園の機能を兼ね備えた認定こども園が理想的と主張。
 - ・町の決めた方針に縛られず、民間の保育所も含めた多様な施設が必要。
- **ごみステーションの問題について**
 - ・ごみステーションの位置が利用しにくく、高齢者にとって危険。
 - ・ごみステーションの設置について、町と協議。
- **ブロック塀による視界の問題について**
 - ・四つ角のブロック塀が視界を遮り、交通事故のリスクが高い。
 - ・ブロック塀の回収について補助金を出すなど施策を自治体へ要望。
- **広報議会だよりの改善について**
 - ・議会だよりの色使いや編集方法への意見。
 - ・一般質問の改善の余地あり。
- **小中学校のあり方検討委員会について**
 - ・検討委員会が発足し、2年間かけて18人の委員で検討し答申する予定。
 - ・町民の意見集約、議会議員の意見集約が重要。
- **問題解決のスピードについて**
 - ・問題解決のスピードが遅いと感じており、もっと早く行動を。





◀詳しくは、こちらから

議会活動状況報告

令和6年3月16日～令和6年6月18日

月 日	活 動 状 況	内 容	対 象 者
R6.3.17	令和5年度上成田町内会総会	・上成田町内会総会	議 長
R6.3.18	醸芳幼稚園修了証書授与式	・修了証書授与式	全 議 員
R6.3.21	総務文教常任委員会	・少子化時代の学校教育のあり方に関して	選出委員
R6.3.26	伊達郡町村議会議長会正副議長会議・事務局長合同会議	・規約の改正について、令和6年度伊達郡町村議会議長会当初予算について、県外行政視察研修について	正副議長
R6.3.26	伊達地方消防組合議会全員協議会		選出議員
R6.3.26	令和6年第1回伊達地方消防組合議議会定例会	・新年度予算外	選出議員
R6.3.27	伊達地方衛生処理組合議会全員協議会	・全国町村議会議長会表彰伝達、令和4年度一般会計歳入歳出決算の認定、令和6年度会費分賦収入方法・事業計画・一般会計予算	選出議員
R6.3.27	令和6年第1回伊達地方衛生処理組合議議会定例会	・新年度予算外	選出議員
R6.3.27	公立藤田病院組合議会全員協議会	・令和6年第1回組合議会定例会議事日程等について	選出議員
R6.3.27	令和6年第1回公立藤田病院組合議会定例会	・条例改正2件、補正予算1件、令和6年度病院事業会計予算1件 審議採決	選出議員
R6.3.28	議会全員協議会	・[桑折町国民保護計画]の改定について、3月定例会の総括について	全 議 員
R6.4.16	議会全員協議会	・議員報酬等の見直しについて ・議会運営委員会委員長からの報告	全 議 員
R6.4.17	伊達郡町村議会議長会議(合同会議)	・令和6年度県町村議会議長会定期総会について ・令和6年度「地方自治研究交流セミナー」について ・第19回伊達郡町村議会議員大会について	正副議長
R6.4.30	議会全員協議会	・認定こども園の進捗状況について ・都市再生整備計画策定委員会の提言と今後の進め方について	全 議 員
R6.5.9	令和5年度伊達郡町村議会議長会決算監査	・監査	議 長
R6.5.16	議会全員協議会	・桑折町都市計画マスタープランについて ・令和4年度決算に係る統一的な基準による財務書類について	全 議 員
R6.5.17	伊達地方消防組合議会全員協議会	・令和6年第2回伊達地方消防組合議会臨時会提出議案について	選出議員
R6.5.17	令和6年第2回伊達地方消防組合議会臨時会	・選挙1件(副議長) ・議案3件	選出議員
R6.5.19	議会報告・意見交換会	・議会報告及び意見交換会	全 議 員
R6.5.21	令和6年度町村議会議長・副議長研修会	・議員のなり手不足は「住民自治の危機」：その打開の道を探る ・ハラスメント―自治体議員が注意すべきポイント― ・将来の地方議会を担うのは誰か	正副議長
R6.5.21	伊達地方衛生処理組合議会全員協議会	・令和6年第2回伊達地方衛生処理組合議会臨時会提出議案について	選出議員
R6.5.21	令和6年第2回伊達地方衛生処理組合議会臨時会	・選挙2件(議長、副議長) ・報告1件 ・議案1件	選出議員
R6.5.27	伊達地方消防組合議会全員協議会	・令和6年第3回伊達地方消防組合議会臨時会提出議案について	選出議員
R6.5.27	令和6年第3回伊達地方消防組合議会臨時会	・議案1件	選出議員
R6.5.27	令和6年第2回公立藤田病院組合議会臨時会	・選挙2件(議長、副議長) ・議案1件	選出議員
R6.5.29	伊達郡町村議会議長会議(合同会議)	・令和5年度伊達郡町村議会議長会歳入歳出決算について ・第19回伊達郡議会議員大会について ・令和6年度「地方自治研究交流セミナー」について ・県町村議会議長会理事・監事合同会議結果報告について ・県外行政視察研修について	正副議長
R6.6.3	令和6年度福島県町村議会議長会定期総会	・定期総会	議 長
R6.6.12	議会全員協議会	・令和6年第3回桑折町議会定例会の議事日程等について ・提案内容の説明 ・令和5年度「うぶかの郷」営業状況報告について ・調査特別委員会の設置について	全 議 員
R6.6.12	令和6年第3回桑折町議会定例会	・会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、行政報告、提案理由の説明、補正予算説明2件、請願書趣旨説明2件	全 議 員
R6.6.12	総務文教常任委員会	・付託事件審査 ・閉会中の所管事務調査申出事項について	選出委員
R6.6.13	議会全員協議会	・令和6年第3回桑折町議会定例会(第2日)の議事日程等について	全 議 員
R6.6.13	令和6年第3回桑折町議会定例会	・一般質問(5名)	全 議 員
R6.6.14	議会全員協議会	・令和6年第3回桑折町議会定例会(第3日)の議事日程等について	全 議 員
R6.6.14	令和6年第3回桑折町議会定例会	・一般質問(5名)	全 議 員
R6.6.18	議会全員協議会	・令和6年第3回桑折町議会定例会(第7日)の議事日程等について ・追加議事日程について	全 議 員
R6.6.18	令和5年第3回桑折町議会定例会	・条例改正3件、規約改正1件、補正予算2件、契約締結1件、報告2件、同意1件 審議採決、追加議案審議採決	全 議 員

政務活動費報告

令和5年4月1日～令和6年3月31日

No.	議員氏名	交付額(円)	支出内容	備 考
1	川村 滋道	30,000	資料購入費、事務費	○調査研究費 議員が行う町の事務及び地方行財政に関する調査研究に要する交通費、宿泊費等 ○研修費 団体等が開催する研修会、講演会等への議員の参加に要する会費、交通費、宿泊費等 ○会議費 議員が行う町政に関する住民の要望、意見を聴取するための各種会議に要する会場費、機材借上費、交通費、資料印刷費等 ○資料購入費 議員が行う調査研究のために必要な図書・資料等の購入に要する書籍購入代、新聞雑誌購読料等 ○広報費 議員が行う議会活動及び町政に関する政策等の広報活動に要する広報誌・報告書等印刷費、送料、交通費等 ○事務費 議員が行う調査研究に係る事務遂行に必要な事務用品費、通信費、使用料、賃借料等
2	齋藤 松夫	60,000	資料購入費、事務費	
3	半沢 正保	17,036	資料購入費、事務費	
4	羽根田ひとみ	18,612	資料購入費、事務費	
5	石幡 政子	55,952	資料購入費、事務費	
6	岡本 貴士	60,000	広報費	
7	鈴木 隆志	57,447	研修費、事務費	
8	佐藤 武朗	9,972	資料購入費	
9	斉藤 謙	12,289	資料購入費、事務費	
10	半澤 高	60,000	研修費、資料購入費、事務費	
11	川名 静子	59,538	研修費、事務費	
12	原 賢志	60,000	資料購入費、事務費	
元町議	佐藤 榮三	0		
元町議	片平 秀雄	0		
合 計		500,846		

一部事務組合議会報告

一部事務組合への令和6年度負担金予算額と前年度対比表

(単位：千円)
小数第2位四捨五入

区 分	内 訳	R6年度予算額	R5年度予算額	増減額	増減率
伊達地方衛生処理組合	一般会計	6,732	6,759	▲27	▲0.4
	し尿処理	25,435	30,050	▲4,615	▲18.1
	ごみ処理	56,604	53,389	3,215	6.0
	計	88,771	90,198	▲1,427	▲
公立藤田病院組合	特別交付税	28,737	28,290	447	1.6
	一般会計	30,000	30,000	0	－
	計	58,737	58,290	447	0.8
伊達地方消防組合	一般会計	246,912	248,621	▲1,709	▲0.7
合 計		394,420	397,109	▲2,689	▲0.7

一部事務組合とは

行政の能率化、効率化を図る為、特典の事務を関係市町村で共同処理する方式です。

伊達地方衛生処理組合

選出議員 半澤 高・石幡政子

国より「循環型社会形成推進交付金」

内示を受けた

令和6年3月27日開催の定例会では、条例改正1件、各会計の補正予算3件、令和6年度各会計当初予算3件、監査委員選任の同意1件が提出され、それぞれ全会一致で可決した。

また、令和6年5月21日開催の議会臨時会では、繰越明許費の報告1件、監査委員の選任同意1件、それぞれ全会一致で可決した。

なお、4月8日付けで国より「循環型社会形成推進交付金」の内示をうけた。今年度は本地域計画に基づき、今後4年間の事業として生活環境影響評価調査や施設の基本計画に着手する。

伊達地方消防組合

選出議員 川名静子・佐藤武朗

西分署庁舎6月末竣工

令和6年度の主な事業歳出は、中央消防署庁舎洪水浸水対策等改修工事2億210万2千円、中央消防署南分署移転新築工事設計等業務委託料4,521万6千円、中央消防署ポンプ自動車更新4,808万円等で6年度予算総額は20億5,220万円の計上。また、令和5年度一般会計補正予算と伊達地方消防組合公告式条例の一部を改正する条例を含む条例改正3件を全会一致で可決。

公立藤田病院組合

選出議員 斉藤 謙・齋藤松夫・鈴木隆志

公立藤田病院議会からの報告

第一回定例会は3月27日開催。7件の提出議案は全会一致可決。6年度病院事業会計予算の収益的予算は7,158,724千円、その内訳は、医業収益が6,571,957千円で前年対比2.8%増、医業外収益は586,767千円、前年対比1.5%の増。

入院は、手術件数増加で新規患者の獲得を目指し、外来は患者数継続で診療単価アップを目指す。

医師確保では整形外科1名 研修医7名が赴任する。

福島地方水道用水供給企業団

選出議員 原 賢志

2月22日令和6年2月定例会が開催され、当初予算及び条例改正1件が提出され、原案のとおり可決された。

◆業務予定量

令和6年度は、年間総給水量を3,749万8,078立方メートル((同14万1,503立方メートル減)、1日平均給水量10万2,734立方メートル(同1,336立方メートル減)と見込んでいる。

令和6年度モニターさん紹介



5月9日(木) 19:00より
イコーゼ！ 委嘱状交付式

(50音順・敬称略)



安 藤 政 浩

去年6月から地域
おこし協力隊として
桑折町に来ました。
他県から来た私の物の見方が役
に立てれば幸いです。



伊 藤 和 磨

町政の理解が深ま
る良い機会と感じ、
昨年に引き続き応募
させて頂きました。今年度も宜
しくお願い致します。



菅 野 真 仁

桑折町を深く知る
ことができるいい機
会なので新成人、1
人の町民として恥のないように
頑張っていきます！



齋 藤 忍

巨大な国際資本に
国や県が翻弄される
今、町政がよりよい
未来に繋がるものなのか、見て
いきたいと思います。



齋 藤 久美子

自分にモニターが
出来るか不安です
が、あまり議会を
知らない立場で気がついた事を
意見できればと思います。



佐 藤 篤

昨年度に引続き議
会モニターを承りま
した。今年度は、議
会を見て、議会だよりを読み
込み、意見を発信します。



佐 藤 未 来

行政について少し
ずつ分かるようにな
り嬉しく思っていま
す。引き続きよろしくお願いし
ます。



中 田 巧

子育て世代の目線
から、より良い町に
なるよう、より町政
に感心を持ち提言していきたい
です。



本 間 英 樹

「まだ知らぬ桑折
町」を知る機会にな
れればと思っています
。「住み続けたい桑折町」の一
助になれば幸いです。



山 川 多美子

議会モニターを引
き受けて私の意見が
どのように反映され
るのか。また、桑折町の魅力を
もっと発信したい。

編 集 後 記

明治7年(1874)五代友厚が弘成館による半田
銀山経営を開始して150年の節目を迎えるにあ
たり記念事業として、令和6年(2024年)度「半
田銀山の歴史・文化を活用した事業」が予算化さ
れた。

半田地区等会場予定に、秋頃、著名歴史家等
を交えたイベント等の開催が予定されています
ので、ぜひ、参加して頂ければと思います。

写真にある半田銀山の古文書は、私が、約40
年前、町史編纂専門委員をしていた時に、東京
神田の古本屋で店頭に出したその日偶然に出会
い購入したもので、町史編纂資料として役立て
て頂くことができ、何か運命を感じる出会いが
あったのかと思います。

今回の事業は、半田銀山について再認識する
絶好の機会になると期待しています。今回をきっ
かけに、ぜひ、桑折町史2巻、半田銀山の章を
読んで頂ければと思います。

鈴木隆志

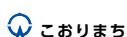
まちの歳時記

半田銀山資料102点の一部



● 広報広聴常任委員会編集委員

委員長 半沢 正保 副委員長 石幡 政子
委員 鈴木 隆志 委員 川村 滋道



こおりまち
議会だより

令和6年7月17日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 原 賢志

編集 広報広聴常任委員会

電話 024(582)2113
印刷 株式会社神尾印刷所